回覧付属資料【第 3 回議事録】

第 3 回 十四山東部小学校閉校イベント準備会　議事録

会議名	十四山東部小学校 閉校イベント準備会（第 3 回）
日時	2026 年 11 月 7 日(土)18:00～20:05 頃
会場	十四山東部小学校　多目的室
主催	十四山東部小学校閉校イベント準備会（仮称）
出席	地域住民、卒業生、保護者、学校関係者、弥富市教育委員会関係者、世話人ほか
配布資料	①第 3 回準備会 投影・配布資料　②第 1 回・第 2 回議事録　③参加者アンケート

1. 会議の目的

第 1 回・第 2 回準備会で集まった「企画の種」を、実現に向けた「企画候補」へ整理するため、A「思い出・歴史を残す」、B「学校をもう一度楽しむ・体験する」、C「地域・世代をつなぎ、未来へ継承」の 3 テーマごとに、実現性、人手、費用、安全面、学校・教育委員会との調整、協力先、準備期間等の条件を検討した。人気投票ではなく、「どうすれば実現できるか」を確認し、地区住民アンケートと年明けからの実行準備につなげることを目的として開催した。

2. 議事次第

・開会・学校あいさつ、教育委員会あいさつ
・これまでの振り返り・本日の進め方の説明
・3 テーマによるグループワーク（企画候補の実現性検討）
・各グループ発表・全体共有
・地区住民アンケート、今後のスケジュール・運営体制の確認
・参加者アンケート、運営スタッフ LINE の案内・閉会

3. 議事概要

(1)開会・学校・教育委員会あいさつ

学校側から、準備会が第 3 回を迎え、開催まで約 1 年となる中で、これまでに出された企画を具体化し、今後は運営スタッフも広げながら準備を進める必要があるとの認識が示された。2027 年 11 月 20 日(土)は学校の学習発表会を午前に行い、その後に閉校イベントへつなげる方向で学校日程を調整していることが共有された。教育委員会からは、学校としての正式な閉校式は 2028 年 3 月 24 日頃に教育委員会主導で行う予定であり、地域主体の閉校イベントとは別枠であることが改めて説明された。地域イベントについては、地域の思いを形にする取組として、教育委員会・学校はサポート役となり、地域側が主体となって進める考えが示された。

（2）これまでの振り返りと現在地

・5 月 30 日の第 1 回では、趣旨・意義を共有し、幅広く「企画の種」を集めた。
・8 月 8 日の第 2 回では、企画の種を 3 テーマに整理し、グループごとに深掘りした。
・8 月 22 日には十四山地区防災部会で区長・区長補助員等へ準備状況を説明し、今後の地域協力を依頼した。
・9 月には第 1 回・第 2 回議事録と第 3 回案内を地域回覧したが、回覧だけでは若い世代や多世帯住居等に十分届かない課題も確認されており、学校連絡アプリ・学校ホームページ等も活用して周知を広げる方向となっている。
・10 月 24 日には歴代 PTA 会長経験者へ協力を依頼するミーティングを行い、参加した 3 名が今後、運営側として協力することとなった。この「最初の運営チーム」を核に、地域住民、卒業生、現役 PTA 等へ輪を広げる。

（3）企画候補の見きわめ方・グループワーク

各テーマの企画候補について、◎「進められそう・具体化に進む」、△「条件付き・確認調整が必要」、－「難しい・保留」の考え方で整理した。検討視点は、人手、費用、安全面、学校・教育委員会との調整、協力者・関係先、準備期間、地域性、他校とのバランス等とし、「やりたいか」だけでなく「どうすれば実現できるか」を話し合った。
新しい案も、実現性を踏まえることを条件に追加可とした。当日の付箋記録では、企画名だけでなく、評価理由、必要な周知、個人情報・安全面、雨天対応、外部調整、実際に関われる人なども併記され、実行段階を見据えた条件整理が行われた。

（4）グループ A「思い出・歴史を残す」

企画候補	整理	主な意見・条件
卒業アルバム・昔の写真展示	具体化を検討	年代の範囲、氏名・顔写真等の個人情報への配慮が必要。アルバムや集合写真、職員写真等の展示方法を工夫する。
学校の歴史ギャラリー・映像	具体化を検討	卒業アルバム、集合写真、職員写真、学校資料、昔の映像等を組み合わせ、年代を追える年表・ギャラリー化を検討する。映像・写真は個人情報、肖像、氏名表示等の確認が必要。
なつかしの先生との再会	進められそう	学校関係者等のつながりを活かして歴代教職員へ声をかけ、来場、トーク、ビデオメッセージ等を検討する。
同窓会・卒業年度ごとの集まり	別企画・条件付き	「同窓会」そのものを本イベント内で大きく実施するより、年代・卒業年度ごとの交流スペースや、イベント前後に別途集まる形を検討する。中心となる人・連絡網が必要。
校歌・由来紹介・全員合唱	有力候補	校歌関係者への連絡可能性を確認し、由来の紹介、指揮、卒業生・児童・地域住民による合唱、伴奏者の調整等を進める。

企画候補	整理	主な意見・条件
思い出の品・記念として残るもの	具体化を検討	地域から昔の品を募る展示案、航空写真・集合写真等を活用したクリアファイル等の記念品案が出た。
情報発信	要検討	SNS だけでは高齢世代に届きにくく、回覧だけでは若い世代に届きにくい。紙、学校 HP、連絡アプリ、SNS 等を組み合わせる必要がある。
先生・卒業生からのメッセージ動画	具体化を検討	来場できない歴代教職員や卒業生等からメッセージ動画を募り、会場上映や記録として残す案。学校 HP、連絡アプリ、SNS 等を使った呼びかけ方法も検討する。
感謝メッセージ・文字アート	具体化を検討	模造紙等へ感謝のメッセージを書いてもらう案や、校庭等で「ありがとう」などの人文字・文字アートをつくる案が出た。人文字が難しい場合はモザイクアート等の代替案も検討する。

(5)グループ B「学校をもう一度楽しむ・体験する」

企画候補	評価	主な意見・条件
昔遊びコーナー	◎	比較的実施しやすい。一般参加も想定できる。
ようこそ先輩・黒板アート・クイズ	◎	実現可能性が高い。黒板アートは教室利用の制約を踏まえ、移動黒板や特別教室、自由に描けるスペース等を検討する。
校舎見学・教室スタンプラリー	◎	一般参加の回遊企画として検討。児童の荷物や個人情報、学習発表会後の教室利用条件に配慮する。
地区対抗リレー・PK・フリースロー	◎	実施しやすい候補。ただし屋外企画は天候の影響を受けるため雨天時対応を検討する。
焼き芋大会	△(実現したい)	過去の学校行事の復活として期待が高い。春から児童・地域・JA 等と芋を育てるなど、事前準備も含めた企画を検討。雨天・火気・人手等の調整が必要。
校内宝探し・かくれんぼ	△	児童には魅力的だが、校内の安全・個人情報・教室利用等に配慮し、児童限定時間と一般開放時間を分ける案が出た。
交通公園の活用・ミニ SL	△～保留	東部小らしさはあるが、設備・安全・他企画との場所調整等の条件が大きく、活用方法を再検討する。
給食の再現・三世代給食	－／保留	発注数量、費用、アレルギー、土曜日の給食提供、保護者・一般参加者への提供条件等から実現難度が高い。別方式で「食」の思い出を再現できないか検討する。

企画候補	評価	主な意見・条件
芸能人・テレビ番組等の外部大型企画	－／保留	調整難度、費用、日程、他校とのバランス等から、現時点では優先度を下げる。地域主体で実現できる企画を中心に進める。

安全面を重視し、企画によって「児童限定で行う時間・場所」と「地域住民等も参加できる一般開放」を分ける考え方が提案された。

(6)グループ C「地域・世代をつなぎ、未来へ継承」

企画候補	整理	主な意見・条件
十四山音頭・盆踊り／神楽・太鼓等	◎～条件付き	盆踊りは比較的進めやすい案として整理。神楽・太鼓等は地区ごとの特色を活かせる一方、出演調整・搬入・安全面等の条件確認が必要。雨天時は体育館利用も検討する。
地元のお店・キッチンカー	進められそう	出店協力先は確保できる可能性が高い。昔の給食メニュー等、学校の思い出とつながるメニューを扱えないかとの案も出た。
協賛・地域企業との連携	必要	十四山地区・東部小学校区の企業や個人等へ協賛を依頼し、企画費・記念品等の財源につなげる。
記念品(T シャツ・タオル等)	進められそう	協賛金との兼ね合いを見ながら制作を検討。配布だけでなく販売する案も出た。
フォトスポット	進められそう	若い世代にも参加・発信してもらいやすい企画として検討する。
見守り隊・読み聞かせ等への感謝	進められそう	児童代表等から、長年学校を支えた地域の方へ感謝を伝えるセレモニー案が出た。
警察等の音楽隊	条件付き	出演可能性を早期に問い合わせる。人気があり日程確保が必要なため、関係者・警察関係者への相談を進める。
子どものダンス・発表	条件付き	教室・クラスごとに内容が異なるため練習調整が必要。十四山音頭・盆踊りとして共通化する案も出た。
各地区の山車等を一堂に集める	難しい・保留	見栄えは良いが、移動・安全・調整等の負担が大きく、実現性は低いとの整理。
地域ゆかりの著名人・卒業生	条件付き	地域ゆかりの人物・卒業生等による対談・出演、最高齢卒業生等の紹介案が出た。本人の意向、連絡方法、調査方法等を確認する。
花を育てて閉校へつなぐ	－／見送り寄り	事前準備や継続管理の負担等を踏まえ、今回のグループでは優先度を下げる整理となった。

(7)地区住民アンケートと企画整理

各グループの発表内容を整理し、11～12 月を目安に地区住民アンケートを実施する方向を確認した。準備会だけで企画を決め切らず、地域の声を確かめたうえで、年明けに実施企画を確定し、具体的な準備へ移る。

・どの企画に参加したいか、実現してほしいか。

・どのような形なら参加・協力できそうか。

・写真・資料を提供できるか、紹介できる人・協力先があるか。

(8)運営体制・情報発信

・年明けからは「話し合う場」から「一緒につくる場」へ移行し、運営スタッフ会議・実行委員会として実際の準備を進める。

・必要な役割として、企画、地域連携、広報・記録、会場・当日運営、外部調整、事務・進行等が示された。「できる人が、できることを」の考え方で、得意分野やつながりを活かして関わる。

・10 月 24 日に協力を得た PTA 会長経験者 3 名を含む運営メンバーを核にしつつ、新たな参加者・協力者を引き続き募る。

・今後の連絡は運営スタッフ LINE を中心に行う。準備状況や議事録等は、地域回覧に加え学校ホームページ等でも周知していく。

4. 決定事項・継続確認事項

・会議では、2027 年 11 月 20 日(土)を閉校イベント開催予定日として共有した。午前中は学校の学習発表会を行い、その終了後に地域主体の閉校イベントへつなげる方向を確認した。

・教育委員会主導の正式な閉校式は 2028 年 3 月 24 日頃を予定し、地域主体の閉校イベントとは別枠とする。

・第 3 回で整理した企画候補を基に、11～12 月に地区住民アンケートを行い、地域の希望・協力可能性・情報提供等を把握する。

・年明けから準備会を実行委員会・運営スタッフ会議へ移行し、アンケート結果も踏まえて実施企画を確定し、企画ごとの準備へ入る。

・実行準備に必要な人材は、企画の進行に応じて地域、卒業生、現役 PTA、関係団体等へ随時協力を求める。

・広報は回覧だけに依存せず、学校ホームページ、学校連絡アプリ、LINE 等を組み合わせて認知を広げる。

5. 参加者アンケート結果(会議後参考)

会議終了後、参加者を対象にアンケートを実施し、13 名から回答を得た(全参加者分ではない)。回答は企画の採否を直接決定するものではなく、第 3 回で整理した企画候補の妥当性確認、今後の地区住民アンケート設計、運営体制づくりの参考資料として扱う。

・第 3 回のグループワークについて、回答者 10 名が「企画を絞り込むうえで、とても有意義だった」、3 名が「おおむね有意義だった」と回答し、否定的評価はなかった。

・自由記述では、焼き芋大会、校歌・校歌関係者を生かした企画、学校や地域を支えた方への感謝を伝える企画等への具体的な意見が寄せられた。

・「子どもにとっては楽しいイベント、大人にとっては節目・式典的な意味合いなど、世代によって期待が異なる」との趣旨の意見があり、複数世代がそれぞれ意味を感じられる構成が必要であるとの示唆が得られた。

・地区住民アンケートでは、当日の参加意向、実現してほしい企画だけでなく、東部小での思い出・エピソード、写真・資料の提供、協力できること等も聞いてほしいとの意見があった。

・今後の関わり方については、継続的な会議参加だけでなく、得意分野での協力、必要時の手伝い、当日運営等、複数の関わり方が示された。引き続き「できる人が、できることを」の考え方で協力者を広げる。

6. 今後の検討課題

・卒業アルバム、写真、映像、歴史資料等の収集・展示方法と、個人情報・肖像・氏名表示等への配慮。
・校歌関係者、歴代教職員、卒業生、地域ゆかりの人物等への連絡・出演依頼と、早期に調整が必要な外部出演者の確認。
・学習発表会終了後の校舎・教室・体育館・校庭・交通公園等の使用範囲、設営時間、児童動線、一般来場者との区分、安全管理。
・焼き芋、キッチンカー等の飲食企画の衛生・火気・雨天対応・人員、給食再現企画の代替方法。
・神楽・太鼓・盆踊り等の地域文化、地域店舗、自治会・団体等との具体的な協力方法。
・協賛依頼、企画費、謝礼、装飾、記念品等の予算整理と、販売を行う場合の運営方法。
・駐車場・来場者動線・受付・設営撤収等、当日運営に必要な人員と地域・企業等への協力依頼。
・世代ごとに届く広報手段の整理と、地区住民アンケートの設問・配布・回収方法。

7. 次回会議

・会議名：第 4 回 十四山東部小学校閉校イベント実行委員会（運営スタッフ会議）
・日時：2027 年 2 月 6 日（土）18:00～（受付 17:40～）
・会場：十四山東部小学校（予定）
・主な予定議題：地区住民アンケート結果の共有、実施企画の整理・決定、実行委員会体制・役割の確認、企画ごとの準備開始、年間スケジュールの具体化
※第 3 回当日は「2 月を目途に第 4 回を開催し、年明けから実行委員会・運営スタッフ会議へ移行する」方針を共有した。会議後の協議により、2027 年 2 月 6 日（土）18:00 からの開催とした。

8. 会議後の確認・決定事項（追記）

・閉校イベントの開催日は、2027 年 11 月 20 日(土)で正式に確定した。

・当日は、午前中の 2 時間目まで学校の学習発表会を実施し、その終了後の時間帯を地域主体の閉校イベントとして開催する。具体的な開始・終了時刻、会場構成、児童・一般来場者の動線等は今後詰める。

・第 4 回会議は、2027 年 2 月 6 日(土)18:00～(受付 17:40～)に開催する。第 4 回からは実行委員会(運営スタッフ会議)として、地区住民アンケート結果を踏まえ、実施企画・役割・年間スケジュールの具体化を進める。

9. 備考

本議事録は、当日の投影・配布資料、Notta 文字起こし、グループワーク時の付箋記録(A・B・C 各テーマ)、会議終了後の参加者アンケートを突き合わせ、重複発言や文字起こし上の誤認識を整理したうえで作成した。会議当日に確認された内容と、会議後に正式決定した事項を区別して記録し、今後の企画判断・実行準備の基礎資料として継続して活用する。

以上

議事録作成者　十四山東部小学校閉校イベント準備会(仮称)

世話人　鈴木裕一